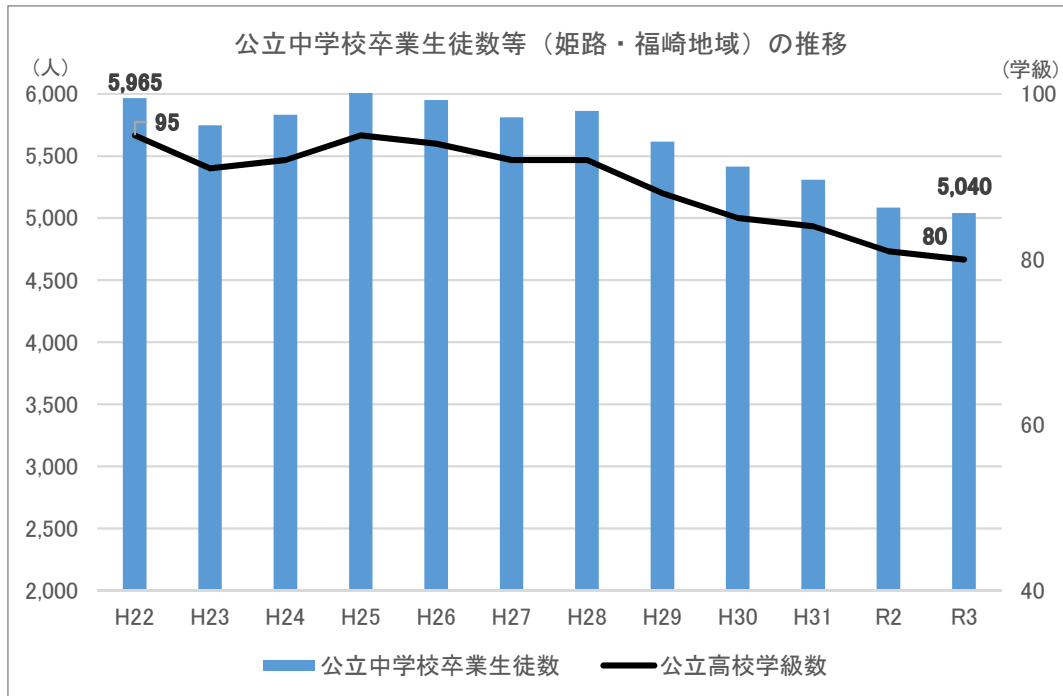


## 生徒数の現状と見込みについて

### 1 生徒数と学級数の推移



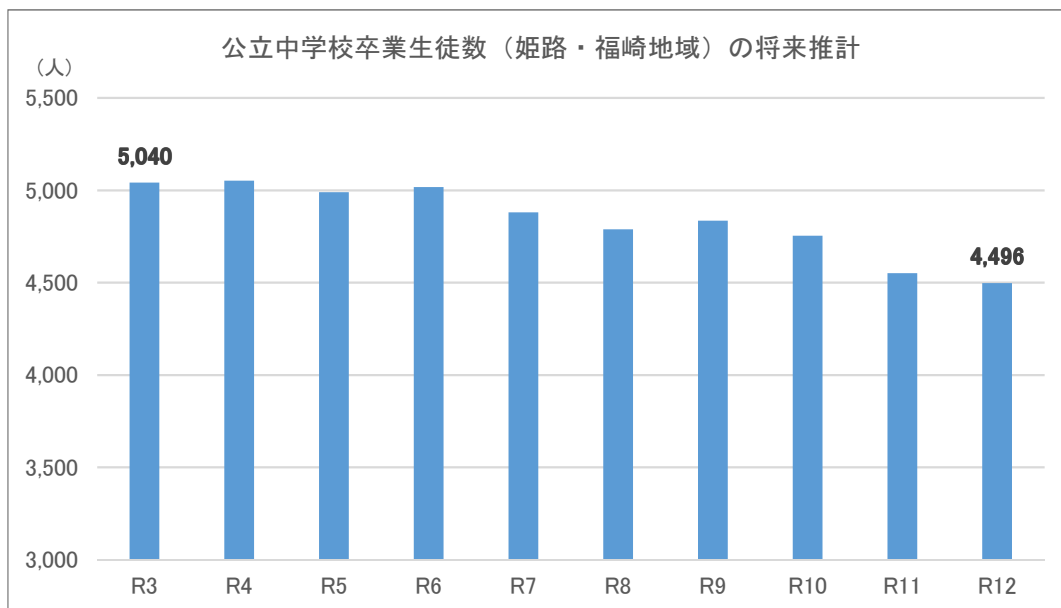
[文部科学省「学校基本調査」、兵庫県「公立高等学校生徒募集定員一覧表」より作成]

姫路・福崎地域（姫路市、市川町、福崎町、神河町）における公立中学校卒業生徒数は、多少の増減はあるものの、全体としては徐々に減少しており、令和3年3月の卒業生徒数は5,040人と、平成22年3月に比べ約930人減少（84.5%）している。

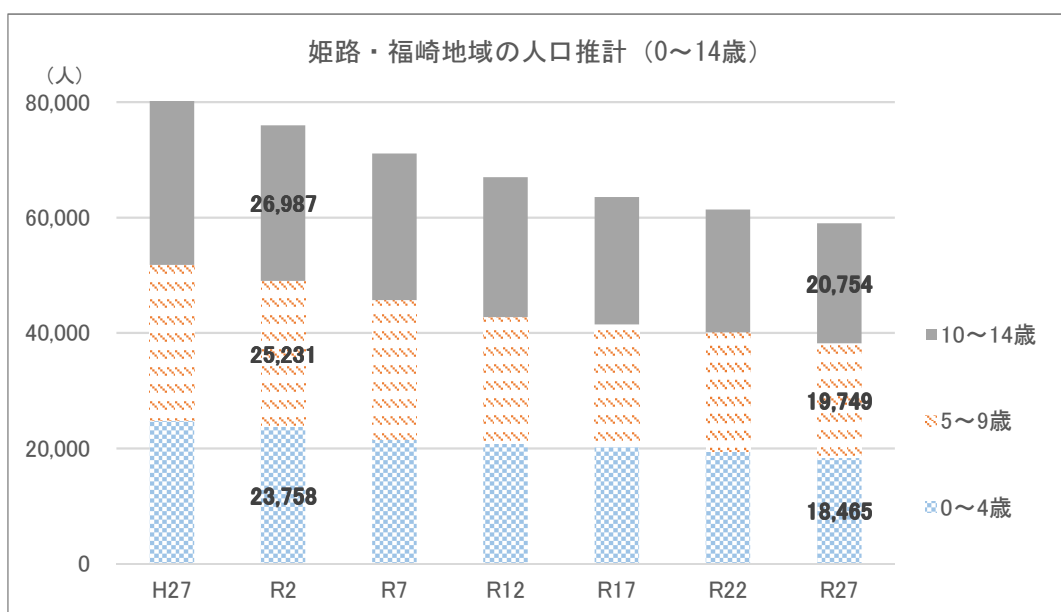
これらの生徒数減少への対応として、県及び市では公立高等学校の学級数（募集定員）の削減を行っており、平成22年度の95学級から15学級削減し、令和3年度には80学級（84.2%）としている。

なお、当該地域における市立高等学校の学級数構成比は、22%前後で推移しており、県立・市立とも学級数を同程度削減してきている。

## 2 生徒数の将来的な見込み



〔文部科学省「学校基本調査」をもとに推計〕



〔国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30年推計）」より作成〕

今後の公立中学校卒業生徒数の推計としては、令和12年3月には4,496人とさらに減少する見込みであり、令和3年3月に比べ約540人減少（約89%）する見込みとなっている。また、国立社会保障・人口問題研究所による姫路・福崎地域の14歳以下の人口推計においても、今から約25年後の令和27年には令和2年の約78%となっている。